



ひよこ便り NO.4



H25.07.10(水)

梅雨が明けびかびかの空がもどってきました。
空を見上げると、とってもきれいな青空で、セミの鳴き声も聞こえてきました。
これから暑い日がつづくでしょうが乗り切って健康な夏にしましょう。



・マット遊び大好き

ひよこ組のお友達はマット遊びが大好きで喜んで取り組んでいます。
保育士がマットを重ねてお山を作り始めるとサササッとみんなハイハイや歩いて寄ってきます。
初めのうちはマットに興味がなかったお友達も今ではお気に入りです。
四つ這いで登り、マットの上で遊ぶ最中、バランスを崩し滑り落ちそうになることもありましたが、
何度か遊んでいくうちに次第に足腰や腕の力の入れ方がわかったのかバランスを取りながら立つ子どももいます。



7月より新しいお友達が2名増えましたのでご紹介します♪

M・Kくん

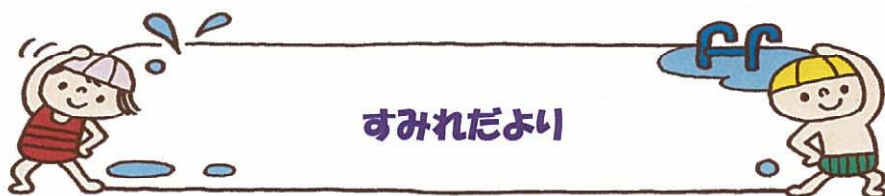


S・Aさん



4月は5名だったひよこ組さんも7月になり12名になりました！最近では友だち同士の関わりが増えてお友達と一緒にいたずらをしたり2人で向かい合い「あー」「うー」とお話しをしたり。見ていてとっても微笑ましいです。
お友達が増えて毎日が賑やかでとても楽しいですよ！ダイナミックな動きで保育室も太陽のようでこれからの子どもたちの成長が楽しみです。

0歳児担任: 今丸 猿渡 古賀 豊古



平成25年7月10日(水)発行

梅雨明けしました。これから夏本番！といった暑い日がきます。暑い日が続くと体調調節がうまくいかず、急に体温が上がる場合があります。子どもたちの動きや表情、食欲などの変化をしっかりと見守っていきたいと思っています。



～みんなで星の妖精さんになったよ～

7月5日にすみれ組では七夕会を行いました。部屋に入るといつもと雰囲気の違い保育室で、天の川を指さして「うわー。」「お？」と子ども達。保育士の七夕のペープサートや壁に貼った人形を使っの話を進んでいくうちに、いつも話し声が絶えない子どもたちが真剣な表情で聞いていました。

保育室の窓に新聞紙を貼って曇り空の雰囲気を出していたのですが、それに気づいた子どもがいました。「この天気だったら織り姫様と彦星様会えないねー。」という保育士の言葉に一人の子どもが窓に走っていき新聞紙を破りはじめました。そこで、準備していた星の手首バンドをはめてあげると、次々とすみれ組の星の妖精たちが新聞を破りはじめ、すっかり部屋は明るくなりました。部屋に仕掛けていた太陽が昇ってくると歓声があがり、太陽に手を伸ばしていました。

電子ピアノに合わせてみんなで“たなばた”の歌を唄いました。7日の夜は晴れていたの織り姫様と彦星様は会えたでしょうね。



★お願い★

日に日に気温や湿度が高くなってきました。
夏ならではの水遊びやボディペインティングなど開放的なあそびを楽しみたいと思っています。
汗をかいた時などにもすぐ着替えられるように、ロッカーに多めの着替えを準備いただけると助かります。また、記入もお願いします。



☆第4号☆



平成25年7月10日(水)

☆小麦粉っておもしろいわ☆

先日、子どもたちと小麦粉粘土を作って遊びました。子どもたちは、小麦粉粘土作りに興味津々で、①普通の小麦粉、②水を加えてべっとりとした感触の小麦粉、③油を加えて弾力の出た小麦粉、と、小麦粉から粘土になるまでの過程で様々な感触に触れる体験をしました。

粘土が出来上がると、その粘土を丸めたり、「べったん、べったん！」と言いながら、手で叩いてつぶしたり、振って伸ばしたり…色々な遊び方で色々な形を作って楽しんでいました。おもちゃおだんごの他に、アンパンマンやカレーパンマン、犬の骨などができました。子どもたちの発想の豊かさに私たちは頬が緩みっぱなしでした。

これから、夏の間水遊びや泥遊び、スライムや片栗粉など、様々な素材を使って色々な感触に触れる機会を取り入れ、豊かな想像力のある作品が楽しみです。



☆子どもたちに人気の絵本の紹介☆

【さよならさんかく】

作：わかやま けん
出版社：こぐま社

「さよならさんかく また来て しかく…」
こんななつかしい言葉遊びを、“色”と“形”をテーマに、視覚的に展開させたユニークな絵本です。

「しろいはなあに」、「まるいはなあに」という問いかけに、子どもたちは

左のページに並んだ色々なものを見ながら、「とうふ!」「ボール!」などと次々に答えます。最後に出てくる青色おばけも子どもたちは大好きです。



☆小麦粉粘土の作り方☆

準備するもの：小麦粉、水、油、(塩、食紅)

小麦粉に水、油を少しずつ加えながら混ぜていくだけで簡単にできる遊びです♪

あらかじめ、水に食紅を溶かしておくと、色のついた粘土を作ることができます。

*塩は、傷みにくくするために入れるので、入れなくても大丈夫です。

☆プール遊びについて☆

7月8日(月)九州、四国、中国、近畿、東海地方の梅雨明けが発表されました。

保育園では、7月19日(金)にプール開きの予定です。

2歳児クラスは、2階のテラスにビニールプールを出して、水遊びをしようと計画しています。プール遊びが始まる時は、またお伝え致します。

2歳児担任 嶋津 由佳



7月7日の七夕の日は、大雨と雷がひどかったですね。織姫と彦星は無事に会うことができるのか、子どもたちと心配していましたが、何とか夜には雨がやみ、雲の間から星が顔をのぞかせていました。子どもたちの願い事が届いているといいですね。

無事に梅雨明けをし、これからますます暑くなりそうです。プール遊びも計画していますが、子どもたちの健康も考えながら室内で快適に過ごせるようにしていきたいと思っています。

ほしグループで過ごすようになって1週間がたちました。子どもたちは生活の流れが変わったので、初めは戸惑う姿もありましたが、それよりも新しいお友だちと過ごすことがうれしいようです。3歳児が困っていると4歳、5歳のお友だちが「一緒にしよう。」「これはこうするんだよ。」とさりげなく、教えたり手伝ったりしています。

3歳の子どもたちは、年長組のお兄さん、お姉さんのしていることをよく見ていますよ。

12月まで子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。



ババ抜きを教えてもらいながら一緒に遊んでいる所です。

ほしグループの子どもたち

わらべうたやお絵かき、おりがみが好きでよく遊んでいます。

たくさん
遊ぼうね



プールあそびが始まります。

ロッカーにパンツと着替えの半袖・半ズボン・ビニール袋を多めに準備していただくと、助かります。よろしくお願いいたします。





H25.7.10 発行

7月から3.4.5歳児の異年齢保育が始まりました。初日は、グループのお友だちの自己紹介をしました。見慣れている友だちでも、どことなく緊張した表情や慣れない不安な姿が見られましたが、一週間が経ちその表情は和らぎ、異年齢でかかわり合う姿が少しずつ見られ始めています。

この7月では、遊びや生活を通じて小集団のなかでかかわりを楽しむことが出来るように活動を進めています。その活動の中で、子どもの成長に合わせた保育教育とよりよい環境構成の中で、子どもたちが楽しく過ごせるようにと支えています。



～お昼寝はこっちょ～

お昼寝の準備をする3歳児のNくん体操服をうまく脱げずに困っていました。

それに気づいた4歳児のSちゃん。

Nくん「どうしたん？脱げんの？」と聞いて「手を上に上げてん！」と言って上着を脱がせてくれました。そして、何も言わずに最後まで見届けてSちゃんはNくん「地域交流のお部屋やけんね」と言って一人で行ってしまったのですが、Sちゃんは、部屋の中でNくんが来るまで横にならずに待っていてくれたのです。

その姿に思わずNくんもニッコリと笑顔になりそれを見てSちゃんは「Nくんこっちょ」と寝るところまで教えてくれました。異年齢保育ならではの微笑ましく、この家庭的な温かい雰囲気の中での思いやりの心の育ちをほのぼのとした母親の気持ちになりました。



太陽のようにあふれる笑顔の子どもたち



たいようグループ担任：河内千穂・田中佑奈



にじグループのおたより

H25. 7. 10 (水)

梅雨明けまであと少し、晴れた日には夏の日差しが降り注ぐようになりました。

7月から縦割り保育を始め、にじグループとなり10日がたちました。15人のメンバーは個性が豊かでクラス中に声が響きわたりにぎやか日々を過ごしています。年少児は、保育室が変わったことで戸惑いも見られましたが今では少しずつ慣れ、保育室に戻ってくるたびに「ただいまぁ」と元気に挨拶をして戻ってくるようになりました。

これからどんなに育った姿が見られるかとグループのそれぞれの年齢の子ども達の顔を見ながら胸がわくわくします。



< にじグループのメンバーの紹介 >



☆歌が大好きな子ども達が多いグループです。いろんな曲の合唱を豊かにしていこうと思っています

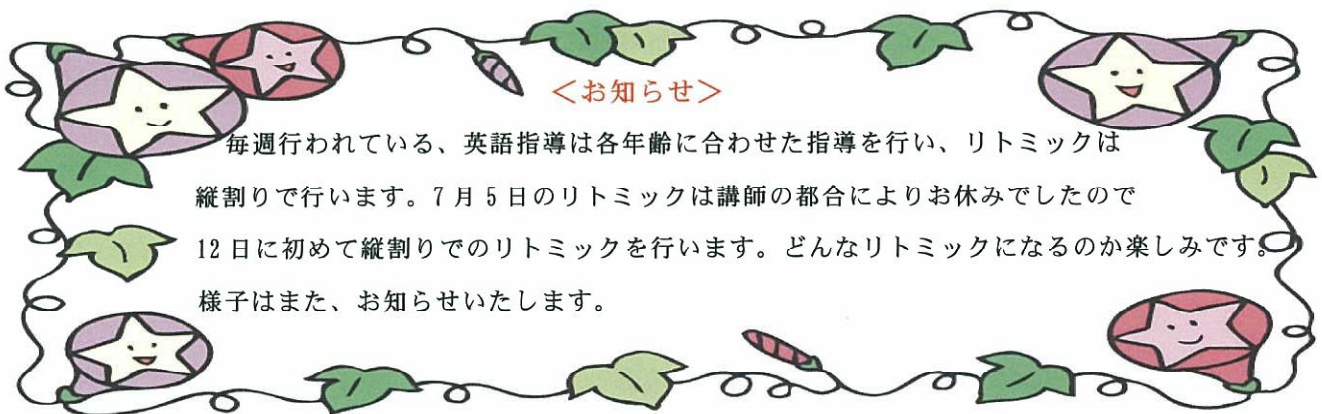
★3・4・5歳児の子ども達が協働して、立体的な制作や自己創造の表現活動ができるようにと欲張って胸を躍らせている担任二人です。



「お姉ちゃん、踊り教えて！」

保育園で七夕まつりをした時の事です。年長の女の子が「先生、七夕さまの踊りの音楽流して踊りたいの」と言ってきました。音楽に合わせて何回もクラスで踊っていました。すると、座ってじっと踊りを見ていた年少の女の子は、踊りが終わるたびに「上手！！かわいいなあ」と拍手をしていました。すると、年長の女の子が「踊ってみる？教えてあげるよ！」と言うと今まで座って見ていた女の子が目を輝かせて大きく「うん」と、うなずきました。それからの事、扇子を持ち練習が始まりました。「手はこうしてね、扇子を見るんよ。」と優しく丁寧に教えてあげていると、踊っている子ども達の人数が少しずつ増えてきました。年少の女の子よりも教えてあげている年長の女の子の方が、とても嬉しそうに見られました。

年少・年中・年長が活動の中でよりよく育つ「思いやり」「意欲」「自主性」を大切にしながら進めていきます。



<お知らせ>

毎週行われている、英語指導は各年齢に合わせた指導を行い、リトミックは縦割りで行います。7月5日のリトミックは講師の都合によりお休みでしたので12日に初めて縦割りでリトミックを行います。どんなリトミックになるのか楽しみです。様子はまた、お知らせいたします。

にじグループ担任 中村 友美 山本 光男